

博士課程

2019

授業科目 〈シラバス〉

沖縄県立芸術大学大学院
芸術文化学研究所

授業科目〈シラバス〉について

この「2019 授業科目〈シラバス〉」は、平成 31 年度に大学院芸術文化科学研究科で開講される（一部休講科目を含む。）授業科目について、各担当教員から提出された授業科目〈シラバス〉をまとめたものです。履修計画や年間の学習計画を立てる際に利用してください。

なお、履修案内については、別冊「履修便覧」に記載しています。

1. 集中講義科目については、単位数・学期欄の（）内に表記されています。
2. 担当教員名欄には、科目の指導担当教員全員の氏名が記載されています。
3. 担当教員名欄の（客）は客員教授を、（非）は非常勤講師を表します。
4. 履修上の留意点には、履修の条件や注意事項のほかに、履修にあたり心掛けるべき点、学生への要望等が記載されています。

大学院芸術文化学研究科開設授業科目一覧表

科目コード	科目名	単位	学期	履修年次	授業区分	ページ
90112	芸術表現総合比較研究 I	2	通年	1・2	演習	1
90113	芸術表現総合比較研究 II	2	通年	2・3	演習	2
90228	比較美学研究A	2	後期	1・2	講義	3
90229	比較美学研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	4
90230	比較芸術学特殊研究A	2	前期	1・2	講義	5
90231	比較芸術学特殊研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	6
90242	日本芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	7
90243	日本芸術批評史研究B	2	後期(集中講義)	1・2	講義	8
90244	東洋芸術批評史研究A	2	前期	1・2	講義	9
90245	東洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	10
90234	西洋芸術批評史研究A	2	後期	1・2	講義	11
90235	西洋芸術批評史研究B	2	前期(集中講義)	1・2	講義	12
90216	民族工芸論研究	4	通年	1・2	講義	13
90217	映像論研究	2	前期(集中講義)	1・2	講義	14
90246	日本芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	15
90247	日本芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	16
90248	民族芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	17
90249	民族芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	18
90251	東洋芸術文化学研究A	2	前期	1・2	講義	19
90252	東洋芸術文化学研究B	2	後期	1・2	講義	20
90250	民族芸術学特論	2	後期(集中講義)	1・2	講義	21
90238	東洋工芸史研究	4	通年	1・2	講義	22
90220	西洋音楽史研究	4	通年	1・2	講義	23
90221	日本音楽史研究	4	通年	1・2	講義	24
90223	民族音楽学研究	4	通年	1・2	講義	25
90224	琉球音楽論研究	4	通年	1・2	講義	26
90225	民族舞踊学研究	4	通年	1・2	講義	27
90226	民俗芸能論研究	4	通年	1・2	講義	28
90227	琉球楽劇論研究	4	通年	1・2	講義	29
90239	楽曲分析研究	2	後期	1・2	講義	30
90240	アートマネジメント研究	2	通年	1・2	演習	31
90241	芸術学研究	2	通年	1・2	講義	32

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
90244 (90233)	東洋芸術批評史研究 A (奇数年度開講)	2 単位 前期	1・2	講義	金 恵信

■テーマ アジア近現代美術の企画展

■授業の概要

1990 年代以降、日本の主に国公立美術館で開催された東アジア諸地域の美術企画展の中で、国際美術文化交流企画の性格を持ち、複数の地域の専門家・研究者の学術論文が収められている図録の中から、学術的、批評眼のある論考を取りあげて読む。

■到達目標

- ・東アジアの近現代を美術館の企画展を通して把握する。
- ・図録の論考を読むことで、美術展示を中心に展開する批評的論点と言説を考察できるようになる。

■授業計画・方法

1. 前提:美術館と美術展示 ―国民国家という共同体の中の美術館
2. 東アジアの近現代いう時代とそのイメージとしての美術
3. 1990 年代以降日本国公立美術館におけるアジア近現代美術企画展
4. 『「戦場」としての美術館』第三章を読む―批評家と美術館のことを考える前提として
5. 「90 年代の韓国美術から―等身大の物語」展(1996) 東京国立近代美術館他
6. 「還流 日韓現代美術」展(1995)愛知県美術館／名古屋市美術館
7. 「アジアのキュービズム展―境界なき対話」展(2005)東京国立近代美術館他
8. 「秘すれば花／東アジアの現代美術」展(2005) 森美術館
9. 「近代の東アジアイメージ」展(2009) 豊田市美術館
10. 「アジアをつなぐ―境界を生きる女たち 1984-2012」展(2012) 沖縄県立美術館・博物館他
11. 「官展にみるそれぞれの近代美術―東京・ソウル・台北・長春」展(2014) 兵庫県立美術館他
12. 「アジアにめざめたら:アートが変わる 世界が変わる」展(2018)東京国立近代美術館他
13. アジア美術館という空間「福岡アジア美術トリエンナーレ」福岡アジア美術館
14. 「闇に刻む光 アジアの木版画運動」展(2018)福岡アジア美術館
15. 授業のまとめ。定期試験は実施しない。

■履修上の留意点 (授業以外の学習方法を含む)

- ・示される次のテキスト及び配布資料を熟読する。
- ・日頃積極的に美術展覧会を見て、作品について考えることを授業と並行して行う。

■成績評価の方法・基準

□方法 レポート70%・平常点20%・コメントペーパー10%で総合的に評価する。

□基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

芸術文化科学研究科 (博士課程) の学生には、専門家としての独創的かつ学術的な達成を求める。

■教科書・参考文献 (資料) 等

□教科書

□テキスト

□参考文献

取り上げる展覧会図録

『「戦場」としての美術館―日本近代美術館設立運動／論争史』 朴昭炫著 ブリュック 2012